

令和3年 6月市長定例記者会見

日 時：令和3年5月27日（木） 午前11時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、エフエムいみず、
ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、保健センター所長、政策推進課長、
生涯学習・スポーツ課長、上下水道業務課長

○質疑応答の概要

Q 1. 新型コロナウイルスワクチン予防接種の予約方法について、高齢者や医療機関からやりにくいという声をよく聞くが、今の方法を今後も続けるのか。

A 1. 予約を開始した5月7日以降の数日については、コールセンターや個別の医療機関で電話がつながりにくくご迷惑をおかけしたケースもあったと認識している。現在、回線の増設などが行われたところもあり、こうした対応の拡充が図られていることから、現在のところは今の予約方法を継続したいと考えている。

Q 2. 濁り水の問題について、発生から1週間たってから説明があったが、濁り水以外の問題も含めて、もう少し早く途中経過も含め説明する機会を設けるべきではないか。

A 2. 濁り水の対応については、新聞等でも報道いただき、また市のLINE公式アカウントを通じてお知らせもした。原因については富山県企業局の工業用水の漏水などとも関連しており、原因の特定には企業局との協議も必要な状況となっている。こうしたことから今回定例記者会見での報告となったが、今後は必要な情報について、迅速にお知らせできるようにしていきたい。

Q 3. べいぐるんについて、2年目でもあくまで3か月スパンの実証運行とするのか。また、実証運行期間について、紅ズワイガニ漁が解禁して一番の書き入れ時となる9月ではなく6月から8月としたのはなぜか。

A 3. べいぐるんについては、令和4年度以降の本格運行に向けて昨年度から実証運行を行っている。今年度については昨年度のアンケート結果を踏まえた改善をして3か月運行することを考えている。また、9月以降については、令和4年度以降の持続可能な運行形態を探るためにも、有償による実証運行を検討している。その結果を踏まえてしっかり検討したうえで、4月以降の本格運行につなげていきたい。

Q 4. 水道の濁り水の件について、減額分はざっくりと予算を組んで専決処分となるのか。

A 4. 専決処分ということではない。これからいろんな補償について、保険対応できるところは対応をしていくこととなる。また、料金減免については、基本的に徴収する料金から減額する形になるので、専決、補正という対応はしない。

Q 5. 損害補償に関して、お店や事業所に損害があった場合、事業所等側から積極的に申出、請求しないといけないのか。

A 5. 補償については、担当課の方へご相談いただき、その上でそれぞれのケースについて対応させていただきたいと考えているので、そういった補償を考えておられる方は、早めにご相談いただければと思っている。

Q 6. 聖火リレーについて、富山（会場）、高岡（会場）の代替イベントに首長さんも集まれる予定はあるのか。

A 6. 昨日の夕方の知事の会見の件について、まだ詳細は把握していないところであるが、今回については、新型コロナウイルス感染状況を踏まえての公道での開催中止、その代わりに富山、高岡のレセプション会場において代替イベント事業を行うといった趣旨を考えると射水の首長としては参加を控えた方がいいのではと考えている。

Q 7. 要請があったとしても、感染防止の観点から行き難いということか。

A 7. 今、感染防止に向けて、できるだけ人の集まる機会や、密を避けていただくよう呼びかけをさせていただいている中で、今回公道でのリレーを中止されて、それぞれの富山、高岡エリアの中でやられるとのことなので、出席しなければいけないのかと問われると、そこまでの必要はないのではと考えている。